

担任 今回の成績？今の成績が君の実力  
だろうか。どうだい…。

A男 目標が決まればもっとがんばれ  
ると思います。

担任 君ならきっとできる。努力して  
みないか。

A男 ええ。がんばってやってみます。

#### (5) 「すごい、ぜったいになる！」

ある日の日曜日、A男と同じ班の二人は  
A男の父の車で、福島空港とK建設会社に  
オペレーターの仕事を見に行くという。

担任は、教え子を通じて会社の仕事の内  
容を説明してくれるようお願いした。

A男たちは、以前に先輩のBさんから話  
されたことが目の当たりに展開されている  
ことに驚くとともに、さらに建設会社の仕  
事に興味を抱いたようである。

A男は目を輝かせ、担任に次のようなこ  
とを話した。その話の一部を紹介する。

先生、女性が大人の背丈以上あるタイ  
ヤをつけた産業用ブルドーザーを軽  
々と運転しているんです。会社に入っ  
てから6箇月間研修してオペレーター  
になるんですよ。コンピュータで操作  
するんです。すごいですよ。ぼくも、  
ぜったいオペレーターになりたい。…

#### (6) 「自分をためしてみよう！」

その後のA男や他の二人は、すっかり落  
ち着き、勉強に真剣に取り組み始めた。

12月になり、三者面談が行われた。以下

はA男、母親との面談内容の一部である。

母親 先生、A男の家での様子が変わ  
りました。私に言われなくても自  
分から勉強するようになりました。

担任 A男君は、今どんなことを考え  
ているの。

A男 社会人になって専門の技術を持  
って働くということは、すごいこ  
とだと思いました。僕も自分の力  
を試したくなりました。どれだけ  
できるか自信はあまりないけどで  
きるだけやってみようと思っています。  
…

今、A男は自己理解を深めながら、目標  
に向かって努力し続けている。

#### 5 まとめ

「先輩の体験談を聞く会」を実施し、自  
己実現に向かって積極的に生きる生き方を  
学ばせるとともに、「個別面接」によって  
自己理解を深めさせながら、自信と誇りを  
持たせ、将来の目標を具体的に設定させた  
ことは、将来への向上心を高める上で有効  
であった。また、学校と家庭が連携し、生  
徒に対する理解を深めながら援助をしてい  
くことにより、将来への向上心を一層喚起  
することになった。

今後、生徒の個性を尊重しながら、学  
年、場面に応じた将来への向上心を高める  
ための指導援助をしていく必要があると  
考える。